

同窓会は本校生徒の「湧心魂…愛・誇り・自立」を応援します 卒業生が10,000名を超えました

校訓 自主・責任・創造

新春のお喜びを申し上げます。旧年中は、古田会長を始め同窓会の皆様には、本校の教育活動に物心両面で御支援を賜り、心から感謝申し上げます。今年も変わらぬお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

平成29年度は夏以降、熊本地震の被災箇所の災害復旧工事が行われたため、学校は、大変不自由な半年でした。管理棟、西教室棟、



湧心館高等学校長 上妻 利博

創立40周年に向けて

理科棟、第一体育館、図書館など、施設が十分使えず、生徒の学習活動や学校行事などに支障や困難がありました。しかし生徒たちは、この難局に整然と対応してくれ、お蔭で大きな混乱はありませんでした。第一体育館もやっとこの1月中旬には竣工の予定ですが、この経験をネガティブ

に捉えるのではなく、困難を乗り越えるためにみんなで一致結束できたのだとポジティブに捉えて、リニューアルになった立派な施設に感謝しながら、今後の教育活動を充実させていきます。

さて本校は、昭和54年4月、旧熊本農業高校跡地に定通独立校・江津高校が設立されたのが、ルーツです。平成4年には、定時制昼間部を設置、校名を湧心館高校に変更し、平成8年には、定時制昼間部を全日制に移行し、全・定・通の三課程を有する単位制高校校として、現在に至っています。

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお元気で新年をお迎えのことと思います。同窓会会員、教職員の皆様方には、日ごろから同窓会活動にご理解とご協力賜わり、厚く御礼と感謝を申しあげます。昨年の九月の前期卒業生を含めると、卒業生が一万名を超えました。平成二十七年六月の第一回役員会において、会長という重責を承り、早二年が過ぎ三年目になり会長としての、責任感を強く感じております。

平成二十八年は色んな災害が発生し、想定外の被害に遭われた方も多くおられるかと思えます。一月の大雪から始まり、四月の熊本大震災又六月の土砂災害等、暗いニュースが多く発生しました。又、当本校校舎も地震の影響で校舎が使用できなくて、先生方並びに生

平成二十九年は熊本県内にあって、大きな事故とか災害もありませんでした。九月十日の通信制の卒業式が台風の影響で二十四日に延期になりました。たほかは、すべて予定通りでした。

同窓会会員の皆様方にも多くの方々が被災された事と思えます。皆様方には早い復興を祈りつつ被災前の元の生活に戻られることを祈念申し上げます。

昭和五十八年三月同窓会発足以来三十四年、学年代表委員の年齢も高齢化が進み、あて先不明・ご逝去・病氣治療中・介護・仕事や老人会・自治会役員等多様な事象の為、同窓会活動に出席できない方々が多数おられます。そこで役員会で、検討した結果により委員の若返り、さらなる活性化と定着化をはかり、同窓会の新しい体制を構築したいと思っておりますので、「学年代表委員各位」のご理解とご協力を切にお願い致します。



同窓会会長 古田 利武

会長再任されました

又十月十一日(水曜日)には、同窓会役員会の平成二十三年卒業(全日制二十三回生)の宮崎泰樹君が講師を務め、学生諸君に「行動のすすめ」というテーマで学生生活の心得、失敗しない進路選択のポイントなどを説明されて「高校生活の三年間は一千九百五十日。時間を大切にしてください」と語りかけました。

旧校名の江津高等学校が昭和五十四年の創設以来、二〇一九年は開校四十年を迎えることとなります。そこで、記念行事等が学校及び同窓会で準備することになると思いますので、同窓会会員の皆様のご出席をお願いしたいと思います。

今年も同窓会活動は例年同様、四月の三課程の入学式から始まり、三月の三課程の卒業式への出席等、計画し活動してまいります。最後に会の活動に、同窓会会員の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後は、皆様の手を拝借し母校の発展に寄与できる同窓会を目指していきたくと考えております。

今年も同窓会活動は例年同様、四月の三課程の入学式から始まり、三月の三課程の卒業式への出席等、計画し活動してまいります。最後に会の活動に、同窓会会員の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後は、皆様の手を拝借し母校の発展に寄与できる同窓会を目指していきたくと考えております。

発行所
湧心館高等学校
同窓会事務局
熊本市中央区出水4丁目1-2
電話 (096) 372-5311
電 子 三 嶋 勝 彦
http://www.yusinkan.com
同窓生数 10,080人

☆お便りコーナー

江通一回生
熊本地震復興
同窓会を開催!



創立38年。昨年度末で同窓生は1万人を超えました。毎年6月の同窓会役員会に私も参加させていただき、旧江津高校の校歌を聞くと、伝統と歴史の重みに感激しております。校名や課程の変遷が、たとしても、1万人の先輩諸氏がこの出水の地で熱き青春を過ごされたこと、またその歴史と伝統が脈々と受け継がれてきたことは、本校にとって慶事であり、今年が、同窓生の皆様にとって素晴らしい一年あることをお祈りいたします。

生徒募集など開校時の苦労話をお聞きしました。会では、二年ぶりの同窓会に恩師や旧友との在学時の話が弾み、一回生として無から、実のあるものに育ち、卒業した喜びと誇りを感じた有意義なひとときとなりました。また、昨年の熊本地震ではみなさんが、大なり小なり被害を受けられており、お互いを励ましあいました。今回は、本校創立四十周年の平成三十一年に開催を予定し、盛会のうちに終了しました。

平成29年度同窓会予算書

1. 一般会計 (収入の部)					単位: 円
科目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
会 費	1,350,000	1,310,000	40,000	全日制 120名×5,000円 定時制 30名×5,000円 通信制 120名×5,000円	
繰越金	330,625	344,168	△13,543		
雑収入	50	50	0	預金利息	
計	1,680,675	1,654,218	26,457		
2. 特別会計					単位: 円
前年度からの繰越金	3,899,768円				

平成28年度同窓会決算書

1. 一般会計 (収入の部)					単位: 円
科目	当初予算額	補正予算額	決算額	増 減	備 考
会 費	1,310,000	0	1,235,000	△75,000	247名×5,000円
繰越金	344,168	0	344,168	0	
雑収入	50	0	30,011	29,961	預金利息等
計	1,654,218	0	1,609,179	△45,039	
2. 特別会計					単位: 円
前年度繰越金	3,798,962	100,000	806	3,899,768	

監査報告 監査委員 宇野春美 山口美重子
関係諸帳簿及び書類を監査した結果、上記のとおり相違なく正確かつ適法に執行されていることを認めます。
平成29年5月14日



本年度 影響により、校内で地震災害復旧工事が行われ、第一体育館の使用ができませんでした。そのため、急遽、第二体育館に仮ステージを設置し、展示会場には教室を利用するなどして湧心祭を開催しました。

6月2日(金)から始まった高校総体・高校総文祭では、各会場で3年生を中心に全力でプレーする姿が見られました。7月に行われた夏の甲子園熊本大会で、野球部は1回戦天草高校倉岳校に15対0で快勝し、2回戦にコマを進めました。残念ながら2回戦でシード校の球磨工業高校に14対0で敗れましたが、選手たちは最後まであきらめずに粘り強く戦いました。

9月30日(土)に行われた体育大会では、天候にも恵まれ、多くの保護者や地域の皆様の参加をいただき、盛大に開催されました。出演者の中に湧心館高校卒業生が活躍しておられ、生徒にとっては励みになったことでしょう。



本年度 研修旅行では、3年生が神戸・大阪で素晴らしい思い出作りができました。

定時制課 程は30名の新生入生を迎え、生徒数131名(男73名、女58名)で出発しました。

上妻利博校長は、本校の目指す生徒像として「心身の健康を自己管理できる生徒」「自ら責任ある言動をとる生徒」「自己の能力を最大限に伸ばす生徒」を示されました。これを踏まえ、定時制では「将来を見通して行動する生徒」を育てようという位置づけ、取り組んでいます。

○県定通体育大会では、団体競技で卓球、バスケットボール男子・女子、軟式野球が優勝(西九州大会も優勝)、個人競技で柔道75kg級と90kg級、陸上競技5kmが優勝、他にソフトテニス女子、バドミントン女子が上位入賞を果たしました。全国大会には、バスケットボール男子、柔道75kg級・90kg級、陸上競技5km、ソフトテニス女子(2ペア)、バドミントン(ダブル)が活躍しました。中でも柔道90kg級に出場した中山幹大さん(3年)はベスト8と健闘しました。

全日制近況
教頭 中川 義朗



今年度は、生徒会を中心にポスターやパンフレットを作成し、2年生小田瑞稀さんが出展した作品が最優秀賞に選ばれ、熊本県代表として来年8月に行われる全国高等学校総合文化祭への出品が決定しました。

定時制近況
教頭 平江 良樹



本校内生活体発表大会では、今までの自分の振り返りや体験、定時制の悩みや苦悩を明日への希望につなげて語る姿に、共感を呼ぶ場となりました。本校代表には福田太一さん(4年)が選ばれ、県定通文化大会では堂々の発表をしました。

○10月8日(日)の県定通文化大会では、恒例となった太鼓部によるオープニングで幕を開けました。ステージの部では、生徒と職員全員で「ビリーブ」の斉唱とハンドベルの演奏、書と絵の実演という素晴らしいパフォーマンスを披露しました。情報科学科のランチタイムショップや芸術科及び家庭科の作品展も盛況で、芸術に親しむ一日となりました。

通信制近況
教頭 土井裕三子



前期の活動が始まりました。6月11日(日)に行われた県定通体育大会では、ソフトテニス・バドミントン・卓球の3競技に出場し、さわやかな汗を流しました。ソフトテニス男子は個人優勝、男子3位の結果を残し、全国大会に出場することができました。

9月17日(日)に予定していた前期卒業式は台風の影響を考慮して1週間遅れの開催となりました。14人の卒業生一人一人に校長から卒業証書が手渡され、式辞ではそれぞれの生徒の頑張りを紹介されました。在校生代表からは、「通信制で学び、経験したことを自らの強みとし、ここまで努力してきたことを誇りに思い、頑張ってください」との送辞が贈られ、平成26年度から導入した「後期新入学」第1期生が卒業生代表として先生方への感謝の思いや高校生活の思い出、今後の抱負を述べました。

10月には後期がスタート、12人の新生と58人の転編入生が仲間に加わりました。現在の活動生数は本校478人、協力校102人、計580人です。後期最初の行事は県定通文化大会、今年は県立劇場コンサートホールで開催しました。各校代表の生活体験発表は今年も素晴らしい内容で、県教育委員の方から「多くの人に聞いてほしい」とのお言葉をいただきました。また、多くの学校から生徒によるステージ発表が披露され、会場を大いに沸かせました。通信制の生徒会執行部も、主管校として大会運営に大きな役割を果たし、貴重な経験となりました。



4月16日(日)、ニス女子団体・個人優勝、男子3位の結果を残し、全国大会に出場することができました。

9月17日(日)に予定していた前期卒業式は台風の影響を考慮して1週間遅れの開催となりました。14人の卒業生一人一人に校長から卒業証書が手渡され、式辞ではそれぞれの生徒の頑張りを紹介されました。在校生代表からは、「通信制で学び、経験したことを自らの強みとし、ここまで努力してきたことを誇りに思い、頑張ってください」との送辞が贈られ、平成26年度から導入した「後期新入学」第1期生が卒業生代表として先生方への感謝の思いや高校生活の思い出、今後の抱負を述べました。

10月には後期がスタート、12人の新生と58人の転編入生が仲間に加わりました。現在の活動生数は本校478人、協力校102人、計580人です。後期最初の行事は県定通文化大会、今年は県立劇場コンサートホールで開催しました。各校代表の生活体験発表は今年も素晴らしい内容で、県教育委員の方から「多くの人に聞いてほしい」とのお言葉をいただきました。また、多くの学校から生徒によるステージ発表が披露され、会場を大いに沸かせました。通信制の生徒会執行部も、主管校として大会運営に大きな役割を果たし、貴重な経験となりました。

平成三十年度行事予定

- (全日制)
 - 4月9日(月) 入学式
 - 9月29日(土) 体育大会
 - 11月10日(土) 湧心祭(予定)
 - 3月1日(金) 卒業式(予定)
- (定時制)
 - 4月10日(火) 入学式
 - 6月10日(日) 県定通体育大会
 - 10月7日(日) 県定通文化大会
 - 12月13日(木) 湧心祭
- (※検討中)
 - 3月2日(土) 卒業式
 - 4月15日(日) 入学式
 - 6月10日(日) 県定通体育大会
 - 9月16日(日) 前期卒業式
 - 10月1日(月) 後期入学式
 - 10月7日(日) 県定通文化大会
 - 10月28日(日) 文化発表会
 - 3月10日(日) 後期卒業式

お願い

会員の身の上、変更(住所や氏名等)が、発生した場合は、必ず、速やかに同窓会事務局に連絡ください。

電話 096・372・5311
FAX 096・364・9382

戦後、勤労青年に高校教育の機会を提供するために始まった通信制教育は、現在、多様な学習歴や動機を持った生徒が多く集まる場となっています。

編集後記

会員の皆様に「江極だより」第二十九号をお届けします。三十八年目を迎えた母校の近況と江津高校第一回卒業生の先輩方の「熊本地震復興同窓会」を掲載しましたのでご覧ください。皆様のご意見ご感想等を同窓会事務局までお寄せいただければ幸いです。

江極だより編集委員会

広報活動に力を入れたり、進行のりハーサルを何度も重ねるなどしてスムーズな運営を心がけました。

文化の秋にふさわしいイベントとして、11月11日(土)には湧心祭、11月16日(木)には芸術鑑賞会が行われました。熊本地震の

今後も生徒が社会に出て活躍する人材となるよう、職員一丸となって教育活動に取り組みます。

古田同窓会長から

9月17日(日)に予定していた前期卒業式は台風の影響を考慮して1週間遅れの開催となりました。14人の卒業生一人一人に校長から卒業証書が手渡され、式辞ではそれぞれの生徒の頑張りを紹介されました。在校生代表からは、「通信制で学び、経験したことを自らの強みとし、ここまで努力してきたことを誇りに思い、頑張ってください」との送辞が贈られ、平成26年度から導入した「後期新入学」第1期生が卒業生代表として先生方への感謝の思いや高校生活の思い出、今後の抱負を述べました。

平成三十年度行事予定

お知らせ

全日制教頭 中川 義朗
平成29年度4月の定期異動で本校全日制教頭の職を拝命し、着任いたしました。同窓会の皆様には日ごろから御支援・御協力を賜り、心から感謝申し上げます。今年度は、本校の卒業生が進路講演会で講話をされたり、芸術鑑賞会の舞台で演じられるという機会がありました。社会の様々な分野で卒業生が活躍されていることを知り、とてもうれしく思いました。前任校の人吉高校全日制での経験を活かし、本校生徒のため、全力で頑張りたくと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

